

高校世界史プリント（過去問類似）  
現代（冷戦～グローバル化） No.1

名前

得点

/11

問1 第二次世界大戦後の1951年、オーストラリアが安全保障上の結び付きを強めた北米の超大国および隣国である南半球の島国との間で結んだ、共同防衛を目的とする条約は何か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 米華相互防衛条約                      2. 太平洋安全保障条約                      3. 米韓相互防衛条約                      4. 日米安全保障条約

問2 南北戦争後のアメリカ合衆国南部において、黒人の地位向上に反対する元南部同盟軍の軍人らによって結成され、黒人やその支援者に対して暴力や私刑（リンチ）を行った白人至上主義の秘密結社を何というか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. クー・クラックス・克蘭                      2. ノウ・ナッシング                      3. ブラック・パンサー                      4. ネオ・ナチ

問3 冷戦下で東西両陣営の対立が激化する中、いずれの軍事同盟にも加わらない第三世界の国々が結集を図った。1955年にインドネシアの都市で開催され、平和共存や反植民地主義を掲げる平和十原則を採択した会議は何か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. サンフランシスコ講和会議                      2. アジア＝アフリカ会議                      3. モスクワ三国外相会議                      4. ジュネーブ外相会議

問4 第二次世界大戦後、東南アジアのインドネシアが独立を宣言したのに対し、かつての植民地支配を維持しようとして軍事介入を行い、激しい独立戦争を引き起こしたヨーロッパの国家はどこか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. オランダ                      2. フランス                      3. スペイン                      4. イギリス

問5 1951年の講和会議で平和条約への署名を拒否したソ連と、日本との間で1956年に調印され、両国間の戦争状態の終結と国交回復を定め、日本の国際連合加盟への道を開いた外交文書は何か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 日中共同声明                      2. 日ソ共同宣言                      3. 日韓基本条約                      4. 日ソ中立条約

問6 インドの初代首相は、冷戦下において東西どちらの陣営にも属さない非同盟中立主義を外交の基本方針とした。彼が1954年に中国の首相である周恩来と会談した際に合意し、のちのアジア・アフリカ会議（バンドン会議）の十原則の基礎ともなった、領土主権の尊重や相互不侵犯などを定めた合意は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 平和十原則                      2. 新思考外交                      3. 平和五原則                      4. 制限主権論

問7 1968年に調印され、アメリカ・ソ連・イギリス・フランス・中国の5カ国以外の国が新たに核兵器を保有することを禁止する一方、保有国に対しては誠実に核軍縮交渉を行う義務を課した条約は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 非核兵器地帯条約                      2. 戦略兵器制限条約                      3. 核拡散防止条約                      4. 戦略兵器削減条約

問8 1970年代末に首相に就任し、第二次世界大戦後から続いていた「ゆりかごから墓場まで」と称される福祉国家政策を大きく転換し、国営企業の民営化や社会保障費の削減といった新自由主義的な改革を推進したイギリスの政治家は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ウィルソン                      2. チャーチル                      3. マクミラン                      4. サッチャー

問9 第二次世界大戦後のドイツは連合国による分割占領を経て、1949年に東西に分裂した。このうち、アメリカ・イギリス・フランスの占領地域に樹立された国家が、主権を回復した1955年に加盟し、東側陣営との対立を決定づけた西側陣営の共同防衛組織の名称を答えよ。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 東南アジア条約機構                      2. 日米安全保障条約                      3. 中央条約機構                      4. 北大西洋条約機構

問10 1980年代にイランとの間で長期にわたる戦争を展開したイラクが、財政難などの理由から1990年に侵攻し、翌年の大規模な国際紛争の直接的な契機となった、ペルシア湾に面した産油国はどこか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. オマーン                      2. バーレーン                      3. カタール                      4. クウェート

問11 1968年、チェコスロヴァキアにおいてドブチェク第一書記の指導のもとで展開された、検閲の廃止などの自由化・民主化運動を何と呼ぶか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ブラハの春                      2. ハンガリー事件                      3. ポズナニ暴動                      4. 東ベルリン暴動

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	<b>答え 2</b> <b>太平洋安全保障条約</b>	第二次世界大戦中、オーストラリアは日本軍の脅威に直面する中で、従来のイギリス依存からアメリカ合衆国重視へと安全保障政策を転換した。戦後の冷戦期である1951年、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国の3国は、太平洋地域における共同防衛体制を確立するため、この条約を締結した。
問2	<b>答え 1</b> <b>クー・クラックス・クラン</b>	南北戦争後の再建期において、南部白人の反発を背景にテネシー州で結成された。彼らは白装束を身にまとい、解放された黒人やその支援者に対して暴力を振るうなどして、黒人の公民権獲得を組織的に妨害しようとした。
問3	<b>答え 2</b> <b>アジア＝アフリカ会議</b>	冷戦下において、米ソの二大陣営のいずれにも加わらない非同盟諸国（第三世界）が結束を強める動きを見せた。1955年、インドネシアのバンドンにアジア・アフリカの29カ国が集まり、平和共存や反植民地主義、主権の尊重などを盛り込んだ平和十原則を採択した。この会議は、第三世界の国際政治における地位を高める契機となった。
問4	<b>答え 1</b> <b>オランダ</b>	インドネシアは戦前、オランダ領東インドとして支配されていました。第二次世界大戦中の日本軍占領を経て、日本の降伏直後に独立を宣言しましたが、復帰を試みたオランダとの間で独立戦争が勃発しました。オランダは軍事介入を繰り返したものの、国際的な孤立を招き、最終的に独立を認めることとなりました。
問5	<b>答え 2</b> <b>日ソ共同宣言</b>	サンフランシスコ平和条約に署名しなかったソ連との間で、日本は1956年に共同宣言を調印した。これにより両国間の戦争状態が終結し、国交が回復した。ソ連が日本の国際連合加盟を支持することに同意したため、同年の日本の国連加盟が実現した。
問6	<b>答え 3</b> <b>平和五原則</b>	インドの初代首相ネルーと中国の周恩来首相は、1954年の会談において、領土主権の尊重、相互不侵犯、内政不干渉、平等互惠、平和共存からなる平和五原則に合意した。この原則は、冷戦下における非同盟中立主義の外交方針を具体化したものであり、翌1955年に開催されたアジア・アフリカ会議（バンドン会議）における平和十原則の基礎となった。
問7	<b>答え 3</b> <b>核拡散防止条約</b>	1968年に調印（1970年発効）されたこの条約は、核兵器の保有国を限定し、それ以外の国への拡散を防ぐことを目的としている。しかし、この条約の調印後も米ソの核軍備競争は続き、世界の核弾頭保有数は1980年代後半にピークを迎えるまで増加し続けた。
問8	<b>答え 4</b> <b>サッチャー</b>	1979年にイギリス初の女性首相となったサッチャーは、長引く経済停滞（イギリス病）を打破するため、市場原理を重視する改革を行った。彼女はアトリー政権以来の福祉国家路線を見直し、国営企業の民営化や財政支出の削減、労働組合の規制などを断行して「小さな政府」を目指した。
問9	<b>答え 4</b> <b>北大西洋条約機構</b>	第二次世界大戦後、米・英・仏・ソによる分割占領下にあったドイツは、東西の対立が深まる中で1949年にドイツ連邦共和国（西ドイツ）とドイツ民主共和国（東ドイツ）に分裂した。西ドイツは1955年に主権を回復すると同時に、西側陣営の安全保障同盟である北大西洋条約機構（NATO）に加盟した。これに対抗して、同年に東側陣営はワルシャワ条約機構を結成し、東西の軍事対立が固定化することとなった。
問10	<b>答え 4</b> <b>クウェート</b>	イラクは1980年から1988年まで隣国イランとの間で戦争を続けたが、これにより多大な債務を抱え財政難に陥った。イラクのサダム＝フセイン政権は、石油シェアや国境問題をめぐって対立していた隣国クウェートに1990年8月に侵攻し、これを併合した。この暴挙に対して国連安保理は非難決議を採択し、翌1991年の湾岸戦争へと発展することとなった。
問11	<b>答え 1</b> <b>プラハの春</b>	1968年にチェコスロヴァキアで起こった民主化運動は、その首都の名をとって「プラハの春」と呼ばれる。ドブチェク指導のもとで「人間の顔をした社会主義」が目指されたが、ソ連を中心とするワルシャワ条約機構軍の軍事介入によって鎮圧された。